

セメント系無収縮モルタル

パッド用 プレミックスタイプ

# 太平洋 プレU-ロックス<sup>®</sup>パッド



PRE U-LOX PAD

太平洋プレユーロックス・パッドは、機械設備、鉄骨柱など高精度の据付工事に対応するため開発されたパッド用セメント系無収縮モルタルであり、厳選された細骨材とセメントおよび特殊混和材をあらかじめ混合したプレミックス製品です。

## 特長

- |   |         |                                          |
|---|---------|------------------------------------------|
| 1 | プレミックス  | プレミックスタイプのため、現場で煩雑な計量作業を必要としません。         |
| 2 | 成型・施工性  | パッド等の成型、非流動性を求められる箇所への施工性に優れます。          |
| 3 | 早強性・高強度 | 短期から長期にわたり、安定して高強度が得られます。                |
| 4 | 無収縮性    | 硬化後の沈下がなく、高精度の据付工事に適用します。                |
| 5 | ノンメタリック | セメント系のため発錆による施工面の変色等が生じず、長期的な安定性に優れています。 |

## 用途

- 大型機械据付け
- 鉄骨柱基礎ベース据付け
- コンクリートの各種補修
- 配管廻りクリアランスの充てん
- その他、無収縮性で非流動性が求められる箇所

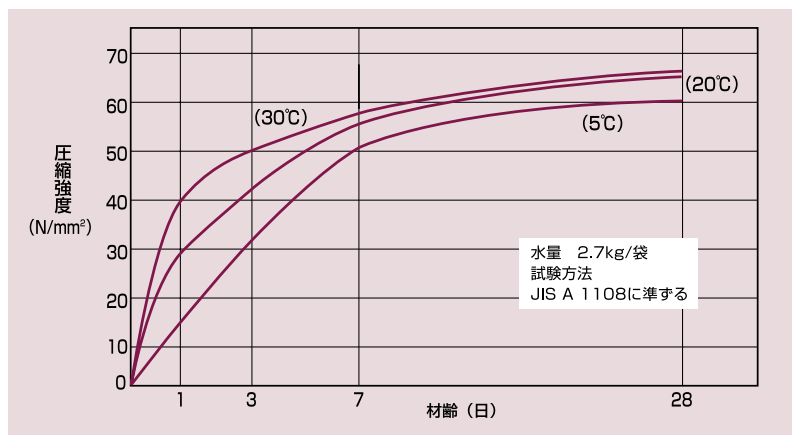
## 標準調(配)合

区分	使用温度範囲 (℃)	太平洋プレユーロックス パッド (kg)	練混ぜ水量 (kg)	練上り量 (ℓ)
単体量 (kg/m <sup>3</sup> )	5~35	2,075	224	1,000
1袋あたり		25 (1袋)	2.7	約12

注1) 1m<sup>3</sup>あたりの太平洋プレユーロックス パッドの必要量は約83袋 (2,075kg) です。

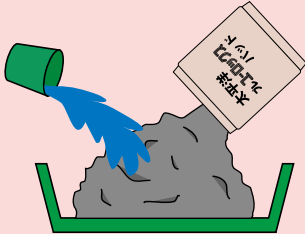
注2) 練混ぜ水量は、1袋あたり約**2.4~3.0kg**を目安として下さい。モルタルを手で握り、手を開いたときに形状を保ちくずれない程度の硬さが適当です。

## 材齢と圧縮強度の関係



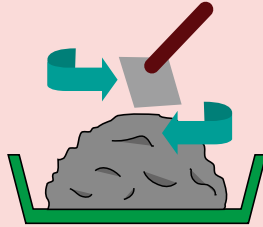
## パッドモルタルの作り方

## 1 練混ぜ方法-1



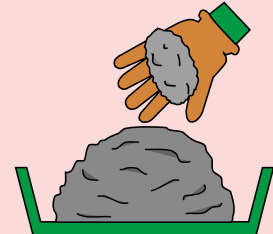
- 練り板の上に太平洋プレユーロックパッドを袋単位で広げてください。
- 所定量の水を徐々に加えてよく練混ぜてください。

## 2 練混ぜ方法-2



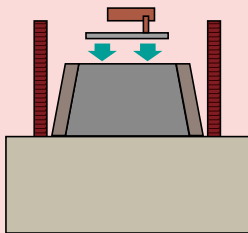
- モルタルにかたまりがある場合にはよくほぐしてください。
- 1回の練混ぜ量は20分以内に使用してください。

## 3 練上りモルタルの状態



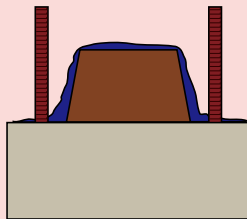
- モルタルを手で握り、手を開いてきれいな状態を保ちくずれない程度の硬さが適当です。

## 4 パッド施工



- ベースコンクリート面の異物、レイトンス層を取り除き水湿しを充分行ってください。
- パッド施工の方法については、現場責任者とよく打ち合わせてください。

## 5 養生



- 水分の蒸発を防ぐため表面を湿布などでおおってください。



# 太平洋マテリアル株式会社

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 ☎03-5832-5217

URL <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

海外営業部	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階	☎03-5832-5226
北海道支店	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	☎011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎022-221-4511
北東北営業所	〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通16-15 保科済生堂ビル2F	☎019-908-2400
東京支社	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階	☎03-5832-5242
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	☎052-452-7141
北陸営業所	〒920-0919 石川県金沢市南町5-20 中屋三井ビルディング	☎076-234-1670
静岡営業所	〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川2-2-1 セキスイハイムビルディング8C	☎054-685-8333
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	☎06-7668-6001
中国支店	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル	☎082-261-7191
四国支店	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎092-781-5331
鹿児島営業所	〒890-0052 鹿児島県鹿児島市上之園町24-2 第12川北ビルBOIS鹿児島	☎099-812-7131
沖縄営業所	〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地2-22-10 那覇第一生命ビルディング	☎098-867-9663

## 使用上の留意事項

- ①練混ぜ温度は、5～35℃の範囲として下さい。なお、夏場などの施工箇所が高温である場合には、材料を出来るだけ気温の低いところに保管し、あらかじめ冷却した練混ぜ水でモルタルの練上り温度がなるべく30℃以下になるようにして下さい。
- ②アルミ製羽根のハンドミキサーで練混ぜを行うと、アルミ部材が磨耗し、施工後モルタルが異常膨張することがありますので使用しないでください。
- ③硬化後、モルタル表面が露出する箇所や拘束条件が不十分な箇所においては、乾燥等によるひび割れが発生する場合がありますので、適切な養生を施して下さい。
- ④高温時（30℃以上）には施工箇所に直接日光が当たらないように養生して下さい。
- ⑤材料の保管には雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等を敷き床面から離れた状態でビニールシート等で覆って下さい。
- ⑥本品に所定以上の水を加えたものを、軟練り用のグラウトモルタルとして使用しないで下さい。
- ⑦本カタログ記載外の用途に使用される場合は、ご使用者側にて調査検討の上、御不明な点は弊社まで御相談下さいませようお願いします。



## 安全上の注意事項



本製品はカタログに記載されている方法でご使用下さい。

- 本製品はセメントと同様にアルカリ性を示します。使用の際は、眼・鼻・皮膚・及び衣類に触れぬよう保護具（ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等）を着用の上ご使用下さい。
- 誤って眼に入った場合は、直ちに清水で充分洗浄した後、医師の治療を受けて下さい
- 皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがありますので、直ちに水洗いして下さい。
- 作業後は手洗い、うがいをして下さい。

●本製品の仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承願います。

●本カタログに記載された事項は、弊社の実験結果に基づくものでありますが、各種条件により実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

